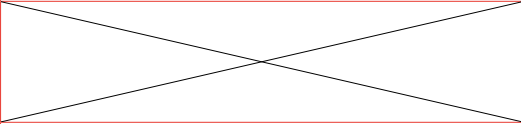


#	お客様による制作データ Illustrator バージョン区分	お客様による入稿 データ形式区分	弊社による印刷データ 形式区分	想定されるリスク	想定されるリスクの対処方法 もしくは、軽減方法	
①	Illustrator 8,9,10(ai)	EPS	EPS (入稿データをそのまま使用)	使い回しのデータ等について、データの残像や履歴等がドキュメント上に残り、それらを原因とするデータの崩れが発生する場合があります。	Illustrator CS 以降で新規ドキュメントを作成し、データを新規ドキュメントに貼り付けて作業することで解決する場合があります。	
②		ai	PDF/X-4			
③	Illustrator CS,CS2,CS3(ai)	EPS	不 可	EPS に書き出す際、データの分割・統合によりデータの崩れが発生するケースの報告が多くなされています。		
④		ai	PDF/X-4	制作データ(ai)に、ai・psd データを EPS に書き出して配置している場合、トラブルにつながる事例も報告されています。		ai・psd データでの配置をおすすめします。
⑤		PDF/X-1a	PDF/X-1a (入稿データをそのまま使用)	PDF/X-1a データを RIP 処理する際、データの分割・統合によりデータの崩れが発生するケースを完全には否定できません。		RIP 処理済データをご提供できます。
⑥	Illustrator CS4(ai) 以降	EPS	不 可	EPS に書き出す際、データの分割・統合によりデータの崩れが発生するケースの報告が多くなされています。		
⑦		ai	PDF/X-4	制作データ(ai)に、ai・psd データを EPS に書き出して配置している場合、トラブルにつながる事例も報告されています。		ai・psd データでの配置をおすすめします。
⑧		PDF/X-1a	PDF/X-1a (入稿データをそのまま使用)	PDF/X-1a データを RIP 処理する際、データの分割・統合によりデータの崩れが発生するケースを完全には否定できません。		RIP 処理済データをご提供できます。
⑨		PDF/X-4	PDF/X-4 (入稿データをそのまま使用)	制作データ(ai)に、ai・psd データを EPS に書き出して配置している場合、トラブルにつながる事例も報告されています。		ai・psd データでの配置をおすすめします。

※ 上記のリスクを踏まえたうえでの検版をおこなっておりますが、ソフトの特性（制作者が意図しないところでも自動的に透明機能がかかるなど）を起因とするトラブルを
発見できない可能性がございます。そのトラブルをできるだけ軽減するために、PDF/X-4 での入稿をおすすめします。

※ 入稿データでの出力紙を添付しての入稿をお願いいたします。